SPECIAL ISSUE / NISSAN MECHANIC CHALLENGE

RACE × LIVE EXPERIENCE

レースを、その場で感じる。

人は、何を感じにサーキットへ行くのか。

【2026 年度】AUTOBACS SUPER GT ROUND 8
MOTEGI GT 250KM RACE GRAND FINAL



11/7,8 / Mobility Resort Motegi / 担当：栃木校



レースの結果は、順位やタイムで知ることができます。では、サーキットに足を運ぶと、どんな瞬間 に出会えるのでしょうか。

今回のテーマは「レース×ライブ体験」。予選・決勝を伝えるとともに、近藤真彦監督へのインタビューを通して、その場所でレースを体験する魅力を探ります。

〇目次〇

01 / RACE
年間チャンピオン獲得！

02 ,03/ INTERVIEW
近藤真彦監督,チーフメカの言葉

04,05 / FIELD
現地体験・活動・振り返り

この特集の「ライブ」は配信ではなく、現地でその瞬間を体験すること。

01 / RASE

No.56　シリーズチャンピオン獲得！

11/7,8　MOTEGI GT 250KM RACE GRAND FINAL

過激なライバル闘いを繰り広げる中、見事 4 位でフィニッシュ！！！

車両番号：No.56 車名：KONDO RACING / リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R

ドライバー：ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手　木村偉織選手



・予選、決勝結果

Round3　予選　17 位
決勝　14 位

Round 8　予選　17 位
決勝　4 位

悔しい結果で終わった Round3。この悔しさを Round8 にぶつけ、チームの思いを 4 位という結果につなげることができた。最終戦では今まで課せられていたウエイトが全てなくなり、マシンスペック本来の実力をいかんなく発揮したことが決め手となった。

・熾烈なチャンピオン争い



冷たい風の吹く晴天でのスタートとなった第 3 戦。56 号車は 17 番手からのスタートとなり、27 点差をつければチャンピオン確定という状況だ。開幕から 4 台がストップするという波乱のスタートとなり、2 周目で SC が出る事態となった。　　56 号車は 10 位に浮上しての再スタート。しかし、35 周目を迎えると、次々とペナルティを受け、結果は 14 位でのフィニッシュとなった。

簡単にチャンピオンを獲得させてくれないのがスーパー GT の面白いポイントであり、もどかしいポイントでもある。明日に向けて気持ちを切り替え、ウエイトなしの全開レースにチーム一丸となって挑む。



56 号車に対する期待を胸に迎えた第 8 戦。予選の結果は 88 号車の好調な走りを受け、惜しくも 17 位という結果となり、惜しくも Top10 入りは叶わなかった。

88 号車の躍進に衝撃を受ける中、1 年間を締めくくる決勝戦が始まった。17 番手からのスタートとなった本戦だが、序盤からトラブルが続く中でも安定した走りを続け、「今回は何かが違う」と感じる走りを繰り広げた。ライバルたちの動向が心配になる中、56 号車が Top3 争いをする中でウラカンが GT-R に接触！監督も怒りをあらわにする。その後も他車にトラブルが立て続けに起こる中、変わらず安定した走りを繰り広げ、見事年間チャンピオンを勝ち取った。

KEY WORDS / シリーズチャンピオン！

近藤真彦監督インタビュー

人は、何を感じにサーキットへ行く？

初めてのサーキットの記憶から、応援の受け止め方、観る人に届けたいものへ。近藤監督の経験を手がかりに、「その場で体験するレース」の魅力を伺います。



近藤真彦監督 / 11/7・モビリティーリゾートもてぎ

Q1. 監督が初めてサーキットに行ったとき、ステージに立ったとき、今でも覚えている光景や出来事はありますか？

初めてサーキットに行ったときは 19 歳の時で、星野一義さんが運転するマーチの横に乗って、ヘアピンカーブを曲がったときの体に感じる G を感じた時に、あこれだと思ったね。ステージのときは、緞帳がバーって開いた時に、1階から3階まで黄色い声援をあびたときにビビビっときたな。

Q2. ステージに立つときと、監督としてサーキットにいるとき。それぞれの反応や応援に違いはありますか？

ステージにいるときは2億4千万の瞳じゃないけど（笑）そのくらいの瞳を直に感じて歌うんだよね。だけどサーキットの瞳は全員が自分たちのことを見ているわけじゃないっていうのが大きく違うし、僕よりチームを応援してもらっている意識のほうが強いかな。

Q3. レースを観に来た人に、勝敗や順位とは別に、どんなものを届けたいですか？

日常で 300Km を超えるスピードの車を日常で見ないじゃない？でそういった車が何十台もいて、そういった車が1コーナーにドカーンって飛び込んでいく。そういった非日常の光景を味わって欲しいな。

Q4. 初めてレースを観る人に、「まずはここに注目すると面白い」と一つ伝えるなら、何を挙げますか？

まずは自分の好きなチームを決めて、そのチームを基準にした見方をすると面白くなるんじゃないかな。そうすれば「さっき赤色の車の後ろにいたのに前に出てる！」っていうような気づきが生まれて、楽しみながらレースを観戦できるんじゃないかな。

Q5. 私たち学生広報が、まだサーキットに来たことのない人へレースの魅力を伝えるとき、大切にしてほしいことは何ですか？

サーキットに来たときはレースだけを見るってわけじゃなくて、パドックには美味しいごはんがあったり、場所によっては遊園地で遊んでみたりと、レース以外も楽しめるんだよってことを伝えてもらえればな、と思う。

KEY WORDS / 非日常を色々な観点から味わう。

04 /MECHANIK INTERVIEW

統括エンジニアインタビュー

メカニックの視点からみたスーパー GT の魅力

KONDO RACING 統括エンジニアの秋山さんにエンジニア視点でのスーパー GT に関するアレコレを伺いました。近藤監督とどのような違いがあるのでしょうか…？



秋山さん / 11/7　終礼後にて

Q1. チーム内ではどのようなお仕事を担当されていますか？

監督代行だったりチームマネージャーだったり色んな言い方があるけど、「統括エンジニア」かな。

Q2. エンジニアの立場から、初めて来るお客さんはどういった点に注目して観戦をすると良いと思いますか？

マシン同士のスピード差がありすぎると、お客さんは見ててつまらないと思う。そういった事にならないために、自分たちは全員が 100%の力を出し切れるようにするようなレースを届けて、お客さんはその全力を出したレースを楽しんでもらうのがいいんじゃないかな。

Q3.スーパー GT はどのようなエンタメ性があると思いますか？

やっぱり、速度域が異なる 2 つのカテゴリーが混走することで生まれる障害物競走のような迫力あるレースは他にない大きなエンタメ性だと思う。

Q4.観客の皆さんに、レースを支える人たちのどんな姿を知ってもらいたいですか？

レースというものは、監督やドライバーだけじゃなく、裏方のテレビには映らない頑張りもあってこそ成り立つものだと思う。そういった頑張りを今回の茂木戦に詰めて挑んでいることを知ってもらいたいかな。

Q5.レースにあまり詳しくない方でも、エンジニアリングやデータ分析などの理系分野に興味がある方には、レースのどういった部分に注目して見てほしいですか？

エンジニアでいうと、レースというものは画面の中だけで完結するものではなくて、実際にタイヤを転がさないとできないもの。エンジニアとして成長するためには、車やレースに対する理解が最も重要になってくるので、レースというのはどのようなものなのかを考えながらみるといいと思います。

・Round3 決勝後、学生の前で秋山さんが語ったこと・

GT-R にとって過剰とも言えるウエイトを背負いながらも、チームとしては非常に好調な順位で第 3 戦を迎えることができました。しかし、今回は度重なるペナルティを受け、自らの首を締めるというような結果となってしまいました。その後ドライバーとチーム間で十分なコミュニケーションを取り、明日の Round8 に向けて気持ちを切り替え、チーム一丸となって全力で挑みます。

KEY WORDS / テレビに映らない作業

04 / LIVE AT THE CIRCUIT

サーキットで、何に出会う？

マシンだけでなく、その場にいる人へ。

監督の言葉と、学生が実際に見つけた場面をつなぎます。人の視線や動き、会場の音、自分たちの気づきから、その場でレースを体験する魅力を伝えます。

01 / THE VIEW

コースと、人の視線



同じレースを観戦していても、先頭を見守る人、後方を見守る人、順位表を注視する人など、人それぞれ見る箇所が大きく異なっていました。

02 / THE MOMENT

音と、反応の瞬間



スタートシグナルが消えた瞬間に各マシーンが一斉に唸りを上げる瞬間は、観戦する人々に大きな高揚感を与え、それと同時に起こる会場の盛り上がりは凄まじいものでした。

03 / FIRST VIEW

学生が見つけた魅力



栃木校の田中は、本番の何が起こるかわからないハラハラ感に注目しました。スタートが順調でも、突然のトラブルに見舞われ、チームにとって良い結果にも悪い結果にも転がってしまう緊張感が、レース観戦を楽しませてくれました。

04 / OUR REPORT

まだ来たことのない人へ



広報担当は、近藤監督の「推しを作る」という発言を元に、No56 のマシーン紹介動画を投稿し、レース観戦だけでなく、KONDO RACING の魅力をお伝えしました。

その場で感じたことを、次の誰かへ。

あなたなら、どんな瞬間に立ち会ってみたい？

取材を振り返って

サーキットに足を運ぶと、どんな瞬間に出会えるのか。今回の取材で私たちは、その場でしか味わえない緊張感や、高揚感だと考えました。近藤監督が語った「推しを決める」という言葉を元にレース観戦をすると、自分の推しが順位を上げた時の喜びを噛みしめることができたり、デットヒートを繰り広げた時の緊張感を噛みしめながら観戦をすることができ、初めてレースを観戦する人でも思いっきり楽しめるのではないかと考えました。



順位やタイムを知ることから、その場に立ち会うことへ。今回の記事が、レースを自分なりに楽しむ きっかけになればうれしいです。

あなたなら、サーキットでどんな瞬間に立ち会ってみたいですか。

RACE × LIVE EXPERIENCE

NISSAN MECHANIC CHALLENGE / 担当：栃木校

この活動は下記のパートナー企業に支えられています

NISSAN REALIZE YOKOHAMA Nihon Mobility Service ALTIA 日産車体 UD TRUCKS AICHIKIKAI PRESTIGE INTERNATIONAL dormy hotels & RESORTS
日産モータースポーツ&カスタマイズ Logisnext ROCK PAINT Quick Pro Paint SYDARS COAT TOPPAN Energywith エムエスピー NISSAN SERVICE CENTER CMCエクスマニコム
NGK NTK KAMIMOTO DEFF SUNTORY MINI&MINI GA INVESTMENT PUMA KSB Arai
日産東京 日産神奈川 日産愛知 埼玉日産 日産大阪 NISSAN 日産プリンス福島 日産プリンス埼玉 岐阜日産 京都日産 兵庫日産 鹿児島日産
秋田日産 日産サティオ秋田 日産プリンス秋田 日産プリンス宮城 福井日産 日産プリンス栃木 栃木日産 長野日産 日産サティオ埼玉 千葉日産 日産プリンス千葉 静岡日産 浜松日産 日産プリンス静岡 三河日産
日産プリンス三重 三重日産 和歌山日産 滋賀日産 岡山日産 日産プリンス兵庫 日産プリンス広島 日産プリンス山口 愛媛日産 香川日産 日産福岡 日産サティオ佐賀 日産プリンス長崎 熊本日産 日産プリンス大分
旭川日産 北見日産 帯広日産 日産サティオ釧前 岩手日産 日産プリンス岩手 新潟日産 日産サティオ新潟西 福島日産 群馬日産 日産富山 石川日産 日産プリンス金沢 甲斐日産 松本日産 日産サティオ千葉
日産自動車販売 日産サティオ湘南 日産プリンス札幌山 日産サティオ福山 日産プリンス熊本

取材・文田中康誠：田中/ 撮影：斎藤歩輝/ 編集出川貴久